

平成28年度進行管理・評価シート
白河市歴史的風致維持向上計画（平成23年2月23日認定）
（最終変更平成29年5月24日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 歴史まちづくりの庁内連携・推進	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画の活用	2
2 景観計画の活用	3
3 屋外広告物について	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 小峰城跡本丸・二の丸石垣修復事業(小峰城跡災害復旧事業)	5
2 歴史的まちなみ修景事業	6
3 歴史的風致形成建造物保存修景事業	7
4 無電柱化調査事業	8
5 旧脇本陣柳屋旅館建造物群整備事業	9
6 屋外広告物景観影響調査事業	10
7 小南湖公園整備事業	11
8 都市計画道路乙姫桜プロムナード整備事業	12
9 無形民俗文化財活動記録作成事業	13
10 しらかわ無形民俗芸能等支援事業	14
11 伝統的技術伝承事業	15
12 白河歴史教科書作成事業	16
13 ぐるり白河文化遺産めぐり事業	17
14 白河の歴史 再発見！事業	18
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の修理(整備を含む)	19
2 文化財の保存・活用を行うための施設	20
3 文化財の防災	21
4 文化財の保存及び活用の普及・啓発	22
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 小峰城、石垣復旧進む ほか3件	23
2 児童が茶道体験 表郷小、作法学ぶ ほか3件	24
3 しらかわ検定2月実施 ほか2件	25
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 東北歴史まちづくりサミット2016in白河の開催	26

□総括評価シート【方針の達成状況等】(様式2)

①計画に記載している方針(様式2-1)	27~32
---------------------	-------	-------

□総括評価シート【代表的な事業の質の評価】(様式3)

①歴史的風致維持向上施設の整備・管理(様式3-1)	33~35
---------------------------	-------	-------

□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	36
-------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

歴史まちづくりの庁内連携・推進

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

平成22年度からまちづくり行政と文化財保護行政の一元的な展開を推進するため、建設部都市計画課内に「歴史まちづくり室」を設置、平成24年度には、建設部内に「都市政策室」を新設し、まちづくり(歴史まちづくり・景観・中心市街地活性化)、都市計画、文化財各部門の連携によるまちづくり推進体制を強化した。また、「庁内推進本部」を設置し、円滑かつ効果的な事業推進を図ることとした。さらには、「白河市歴史的風致維持向上計画協議会」をはじめ、都市計画審議会、景観審議会、文化財保護審議会などの協力や福島県など関係部局との調整を行い、計画の実現を図るものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史まちづくり事業の実施にあたっては、都市計画課及び文化財課との協力・連携のもと事業を実施した。白河市歴史的風致維持向上計画協議会、白河市歴史と伝統を活かしたまちづくり庁内推進本部会議及び調整会議を開催し、計画の推進や事業の実施について協議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- 歴史と伝統を活かしたまちづくり庁内推進本部
 - ・調整会議(平成29年2月17日開催)
 - ・庁内推進本部(平成29年2月22日開催)
 - 協議事項
 - ① 平成28年度における計画及び事業の進捗について
 - ② 総括評価について
 - ③ 計画の変更(第6回)について
 - ④ 歴史的風致形成建造物の指定について
 - ⑤ 平成29年度事業について
 - ・調整会議(平成29年3月29日書面開催)
 - ・庁内推進本部(平成29年3月29日書面開催)
 - 協議事項
 - ① 歴史的風致形成建造物の指定候補について
 - ② 歴史的風致維持向上計画の変更(第6回)について



庁内推進本部(平成29年2月22日開催)

- 歴史的風致維持向上計画協議会
 - 平成29年2月28日開催
 - 協議事項
 - ① 平成28年度における計画及び事業の進捗について
 - ② 総括評価について
 - ③ 計画の変更(第6回)について
 - ④ 歴史的風致形成建造物の指定について
 - ⑤ 平成29年度事業について
 - 平成29年3月31日開催(書面)
 - 協議事項
 - ① 歴史的風致形成建造物の指定候補について
 - ② 歴史的風致維持向上計画の変更(第6回)について



協議会(平成29年2月28日開催)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度
	平成28年度 現在の状況
都市計画の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 南湖公園区域内の一部について、歴史的風致にふさわしい用途の建築物等の整備を可能とするため、歴史的風致維持向上地区計画の策定を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴まち法第31条に基づき、平成28年7月1日に「南湖湖畔店舗地区歴史的風致維持向上地区計画」を導入した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地区計画導入について広く民間等へPRして、空き店舗等へ「歴史的風致維持向上地区計画」に合致した店舗と形態・意匠を誘導することとしたい。

状況を示す写真や資料等

- 歴史的風致維持向上地区計画策定に向けた取組
- 松平定信が作庭した南湖周辺に配置された店舗区域について、建築物の用途の緩和、形態・意匠等の制限を強化
- ・用途緩和: 建物の1階部分に、白河地域の農産品等を提供する飲食店等の立地を誘導
- ・形態・意匠等の制限強化: 屋根は平入の形状、開口部については木製格子戸などに制限



○南湖公園湖畔店舗群イメージ

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成28年度
	項目	現在の状況

景観計画の活用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------	---

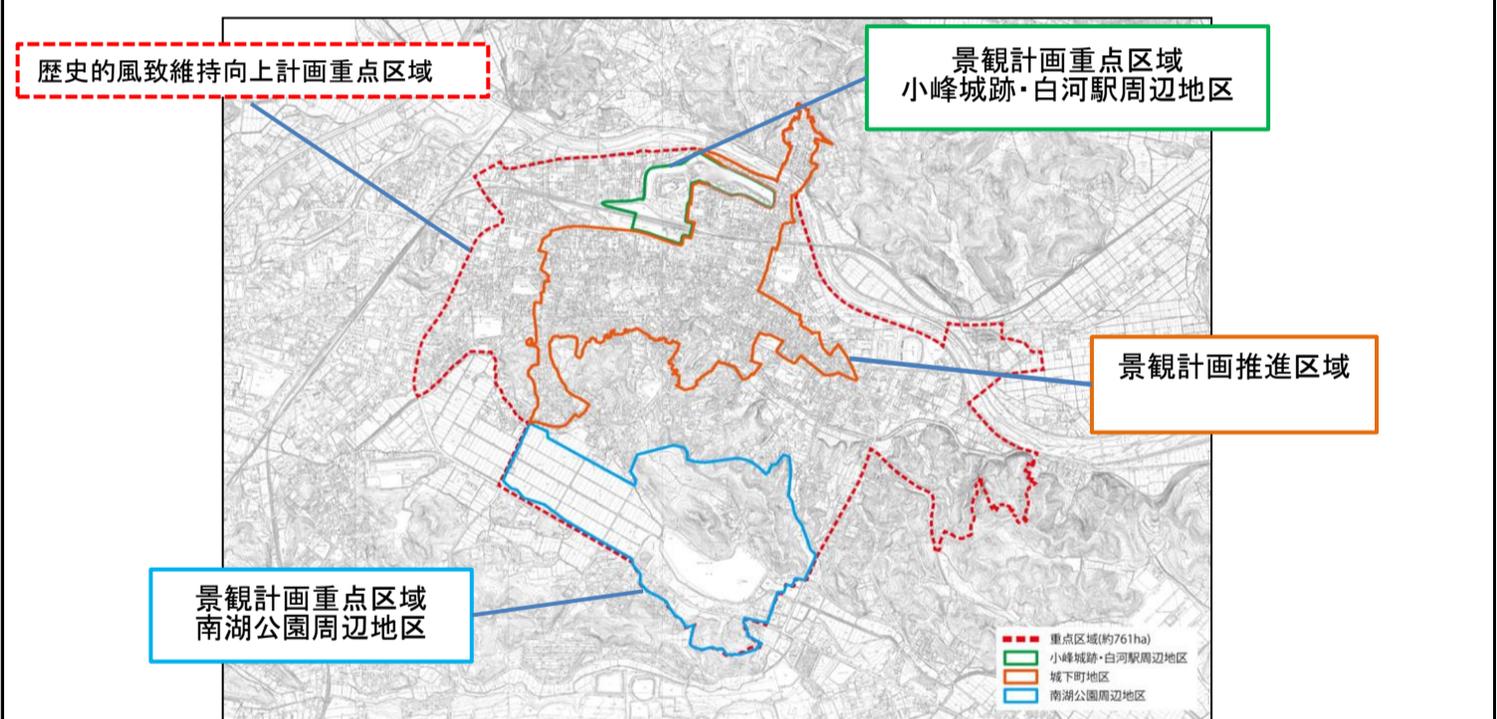
計画に記載している内容
 景観計画では、小峰城跡・白河駅周辺地区と南湖公園周辺地区について、景観計画重点区域に指定し、建築物等の形態意匠や色彩・高さなどについて景観形成基準を設けており、将来的には都市計画法の景観地区の指定を目指す方針である。また、城下町地区については、景観計画推進区域に指定し、建築物等の高さ等の景観形成基準を設け、景観協定の導入等、住民との協働によるルールづくりを積極的に進めることを目指す地区としている。
 今後は、歴史的風致維持向上計画の重点区域と景観計画との整合を図るため、景観計画推進区域を当該重点区域まで拡大する方針である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観条例及び景観計画に基づき、建築物や工作物等の新築、増改築等の行為に関して適正な規制及び誘導を行い、景観計画区域内の良好な景観形成に努めた。
 ○平成28年度届出件数:41件(重点区域4件、推進区域1件、景観計画区域(重点・推進区域を除く)36件)
 また、平成28年度は、横町景観まちづくり協定が締結され市が認定を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



景観計画重点・推進区域図



横町景観まちづくり協議会
 (平成28年10月11日、11月29日 ワークショップ)



横町景観まちづくり協議会
 (平成29年3月23日 協定認定式)

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

屋外広告物について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------	--	---

計画に記載している内容
 屋外広告物については、屋外広告物法及び福島県屋外広告物条例に基づき無秩序な表示や設置を防ぐ美観・風致の維持、良好な景観形成等のため規制を行ってきたが、より本市の実情に即した屋外広告物の規制・誘導を図るため、平成28年4月1日から「白河市屋外広告物等に関する条例」を施行した。条例では、景観計画との整合性を図るため、景観計画重点区域等(重点区域、推進区域(城下町地区)、南湖から那須連峰への眺望に影響のある新白河駅周辺地区)において、屋外広告物の面積、位置、色彩等に市独自の許可基準を設けており、適切な規制・誘導に努めている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

屋外広告物法及び白河市屋外広告物等に関する条例に基づき、屋外広告物の設置に関して適正な規制及び誘導を行い、美観・風致の維持及び良好な景観形成に努めた。
 ○平成28年度許可件数:148件(新規23件、更新116件、変更9件)
 平成28年度は、条例による許可基準等に適合した屋外広告物にとどまらず、より質の高いより魅力的な屋外広告物を誘導するために、「屋外広告物ガイドライン」を策定。白河市景観審議会と、今年度より新たに設置した白河市景観審議会専門部会において内容を協議した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



第1回 白河市景観審議会専門部会
(平成29年1月16日)

■白河市景観審議会専門部会

平成28年度

第1回 平成29年1月16日開催

○協議事項

- ・白河市屋外広告物ガイドラインについて
 - ①白河市屋外広告物等に関する条例について
 - ②屋外広告物ガイドラインの概要について
 - ③白河市屋外広告物ガイドライン(イメージ)について

第2回 平成29年2月20日開催

○協議事項

- ・白河市屋外広告物ガイドラインについて

■白河市景観審議会

平成28年度

第2回 平成29年2月27日開催

○協議事項

- ・白河市屋外広告物ガイドラインについて

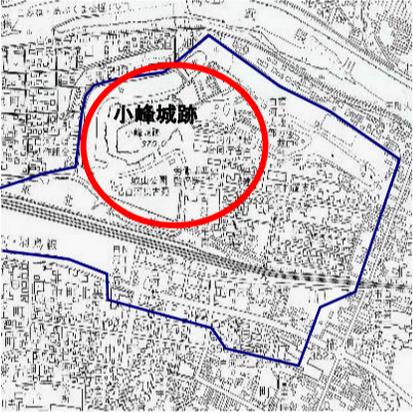
【白河市景観審議会専門部会】

<設置の目的>

景観審議会内に専門部会を設置することにより、窓口に提出された景観の届出および屋外広告物の許可申請に対し、疑義の生ずる案件等について、迅速かつ集中的に審議するとともに、専門的な見地からの協議を行うことにより良好な景観形成を目指す。

<委員の構成>

No.	所属等
1	白河市景観審議会委員
2	東北芸術工科大学 建築・環境デザイン学科
3	福島県屋外広告美術共同組合白河支部
4	東京大学大学院工学系研究科 都市工学専攻
5	日本大学工学部 建築学科 住環境計画研究室

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
小峰城跡本丸・二の丸石垣修復事業(小峰城跡災害復旧事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～		
支援事業名	史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業補助金		
計画に記載している内容	平成23年度・平成24年度は、東日本大震災により崩落した石垣の記録化や石材の撤去作業を行いながら、崩落原因の究明と修復方法の検討を行った。平成25年度以降は、検証結果をもとに計画的に崩落・変形箇所の修復を行っていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
東日本大震災により崩落した竹之丸南面の石垣積替え工事が完了した。また、本丸西・北面、帯曲輪北面、月見櫓および雪見櫓の石垣修復工事を行っている。 修復工事では、市内の石工職人等も作業に参加し、石積み技術者の育成に努めている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	石垣の修復にあたっては、伝統工法による技術研究も課題となっており、専門家で構成する石垣検討委員会を5回開催し、指導・助言を得ながら、修復の検討を行っている。		
状況を示す写真や資料等			
 <p>事業対象地</p>		 <p>本丸北面 石垣復旧状況</p>	
 <p>本丸西面積替え作業</p>		 <p>竹之丸南面 石垣積替え作業</p>	
 <p>帯曲輪北面 上面発掘調査</p>		 <p>第16回 石垣検討委員会(平成28年8月6日)</p>	

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
	項目	現在の状況

歴史的まちなみ修景事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------------	---

事業期間	平成23年度～
------	---------

支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)
-------	--------------------------

計画に記載している内容	良好な町並み景観の保全を図るため、景観計画に基づき「景観形成ガイドライン」を策定し、これに基づく建造物の修景等に対する支援を行う。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成23年度に策定した「景観形成ガイドライン」に基づき、建造物の外観修景等に対する支援を実施した。
 ○対象エリア: 景観形成ガイドラインAゾーン、金屋町谷津田川せせらぎ通り景観協定区域、白河城下景観まちづくり協定区域、門前通り景観まちづくり協定区域、横町景観まちづくり協定区域
 ○補助件数: 平成23年度～27年度 18件、平成28年度 4件

進捗状況 ※計画年次との対応

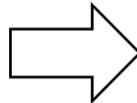
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
--	--------------------------

状況を示す写真や資料等

建築物の修景(外壁の改修)



施工前



施工後

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
歴史的風致形成建造物保存修景事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 旧奥州街道や歴史的街路の沿道に所在する歴史的な建造物について、歴史的風致形成建造物に指定し、所有者等が行う建造物の修理等に要する費用の一部を助成し、歴史的建造物の保全と活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物に指定した建造物の修理等に対する支援について、NPO法人しらかわ建築サポートセンター(歴史的風致維持向上支援法人)との連携により実施した。

○歴史的風致形成建造物指定件数:40件98棟(予定)

○補助件数:平成23年度～27年度 21件39棟、平成28年度 2件2棟

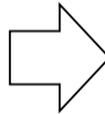
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

屋根・外壁補修(藤屋建造物群 ②倉庫)



施工前

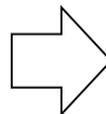


施工後

屋根・外壁補修(白河ハリストス正教会 ②司祭館)



施工前



施工後

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
無電柱化調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～

支援事業名 市単独事業

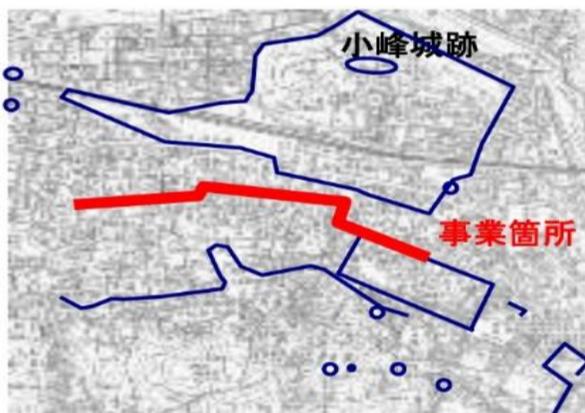
計画に記載している内容 旧奥州街道である現在の国道294号は、鹿嶋神社祭礼(白河提灯まつり)の運行ルート、白河だるま市の開催場所等になっているが、電線・電柱類が祭礼時の運営支障及び景観阻害の要因となっている。このため、道路管理者、事業者等と無電柱化に関する調整を図りながら、現況及び整備手法等について調査・検討を行なう。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

道路管理者、事業者と現地立会を行ない、事業実施にあたっての課題を確認した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



事業位置図



白河提灯まつり運行の支障となっている電線・電柱



現地立会の様子(平成29年2月16日)

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
	項目	現在の状況

旧脇本陣柳屋旅館建造物群整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------------	---

事業期間 平成24年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 明治天皇や新選組ゆかりの歴史的遺産である旧脇本陣柳屋旅館建造物群(歴史的風致形成建造物)について、老朽化の激しい蔵座敷の復元整備に向け、整備後の利活用等の検討を行う。検討結果をもとに、市が土地・建物を取得し、史実に基づき復元整備を行い、まちなか回遊の拠点として活用する。

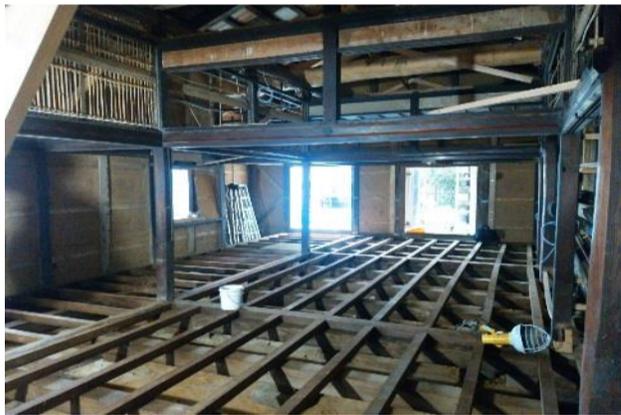
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度:整備設計及び用地測量・不動産鑑定・物件調査を実施。
 平成26年度:用地取得、建物取得(蔵座敷は寄付)を実施。
 平成27～28年度:修復工事(～平成30年3月までの予定)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

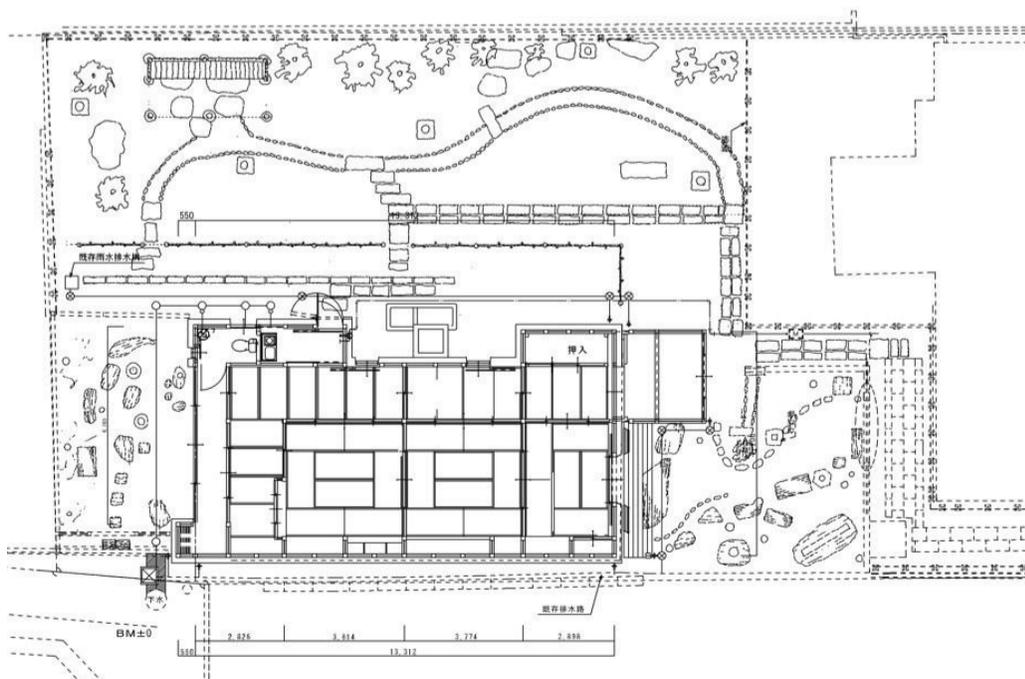
状況を示す写真や資料等



床組修復状況



土壁・屋根組施工状況



全体平面図

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
屋外広告物景観影響調査等事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業と一体の効果促進事業)(平成25年度、平成28年度) 市単独事業(平成26年度、平成29年度)

計画に記載している内容 屋外広告物の表示について、現況調査や影響調査、問題課題の整理、規制のあり方の調査研究、事業者との合意形成活動等を行う。また、本事業により得た成果を反映させた独自の屋外広告物条例を制定するとともに、「屋外広告物ガイドライン」を策定した。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

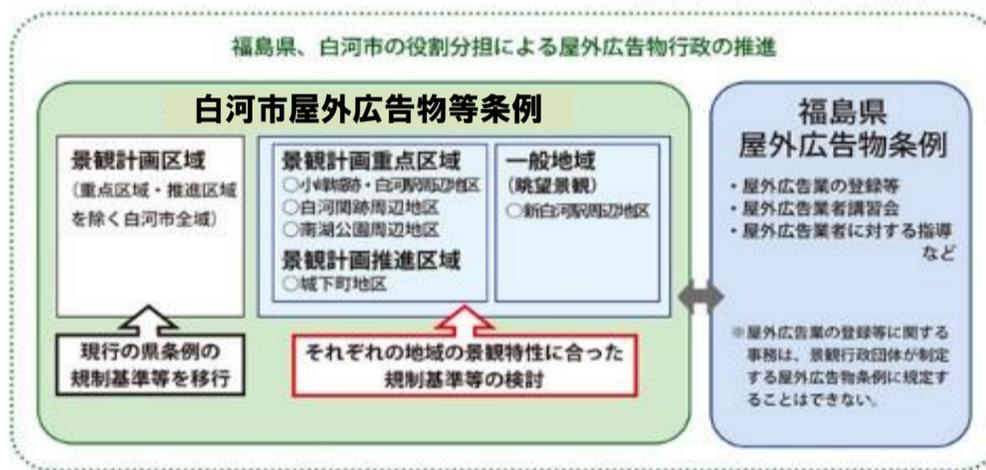
平成28年度は、「白河市屋外広告物ガイドライン」の内容について、白河市景観審議会(1回)及び、白河市景観審議会専門部会(2回)において協議した。
 平成29年度は、屋外広告物景観影響調査等事業の成果を踏まえ、「白河市屋外広告物ガイドライン」を活用したより質の高い魅力的な屋外広告物を誘導するための施策(補助制度、表彰制度など)について検討を進める。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

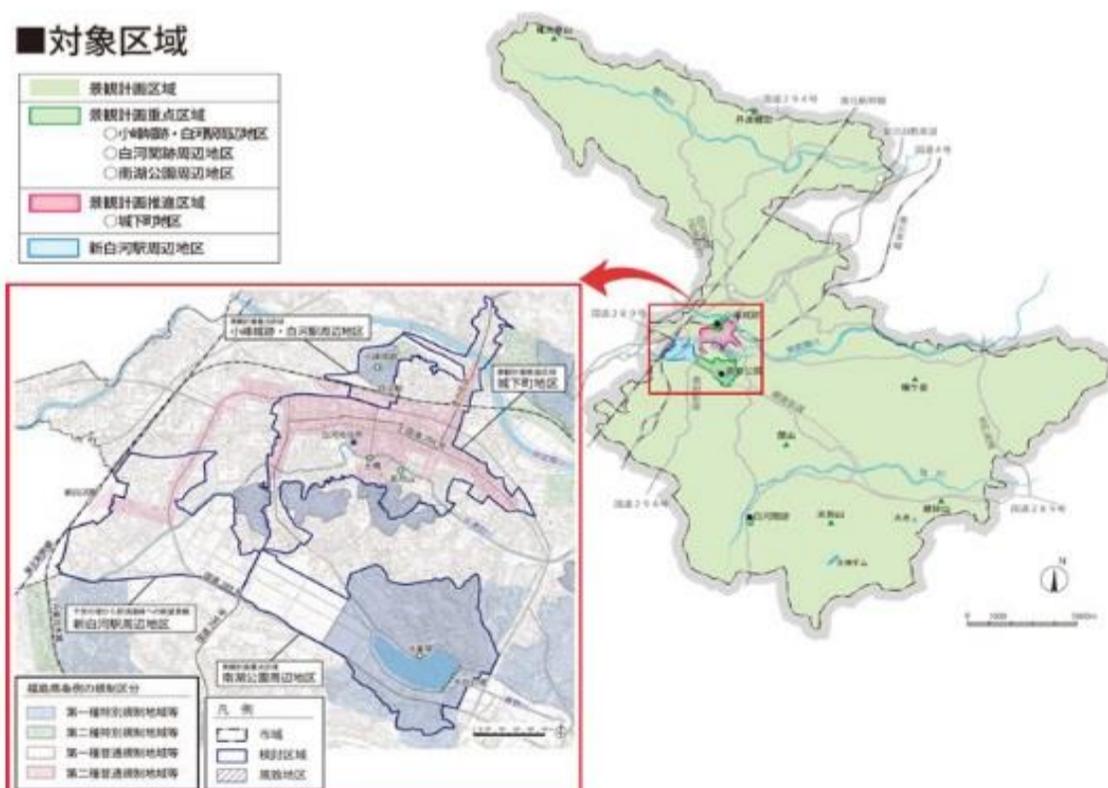
状況を示す写真や資料等

■白河市屋外広告物等に関する条例



■対象区域

- 景観計画区域
- 景観計画重点区域
 - 小*駒原町・白河駅周辺地区
 - 白河開跡周辺地区
 - 南湖公園周辺地区
- 景観計画推進区域
 - 城下町地区
- 新白河駅周辺地区



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
小南湖公園整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	白河藩大名家墓所(市史跡)が所在する小南湖の丘陵地について、丹羽長重廟に至る園路の整備や森林等の間伐、湖沼の浚渫等を行い、まちなか回遊の拠点となる史跡公園として整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年度:現況把握及び整備手法の検討を行なうため、現地測量、植物・水生生物調査を実施した。			
平成26年度:整備設計、用地測量、不動産鑑定、用地取得(一部)、湖沼整備(繰越:平成27年6月11日完了)を実施した。			
平成27年度:用地取得(一部)、営林署官舎解体、湖沼整備(繰越:平成28年9月27日完了)、森林整備(繰越:平成28年12月15日完了)を実施した。			
平成28年度:駐車場整備を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

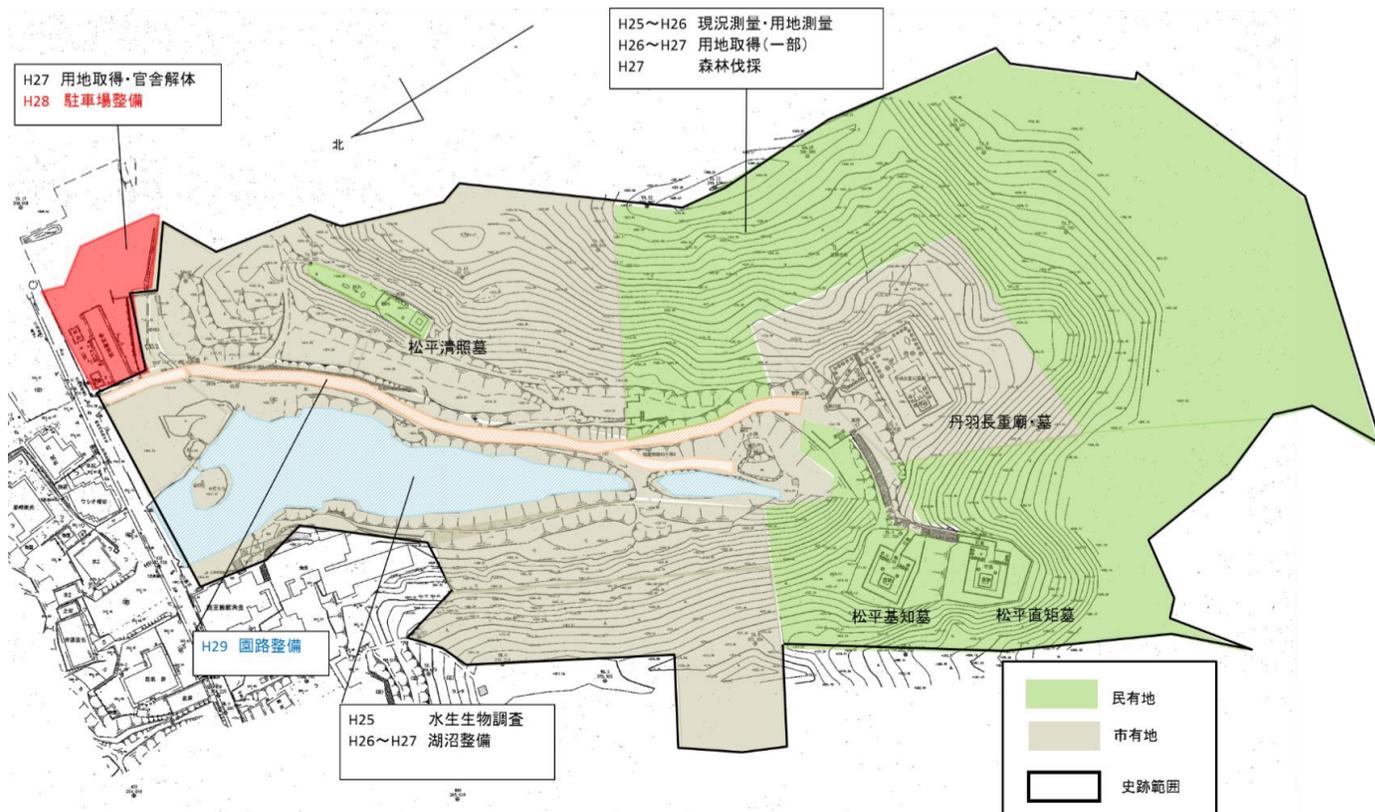
状況を示す写真や資料等



湖沼整備完了



森林整備完了



全体計画図

評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
都市計画道路乙姫桜プロムナード整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街路事業)

計画に記載している内容 都市計画道路乙姫桜プロムナード2号・3号線は、歴史的な町並みを活かして進められている歩車共存道路であり、既に完了している歩行系街路や現在整備中の歩行系街路とともに歩行系ネットワークの形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

乙姫桜プロムナード3号線は、平成27年度の整備をもって完了した。また、乙姫桜プロムナード2号線については、道路改良舗装工事を行っており、平成29年度の完成を目指している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

3号線

2号線

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

無形民俗文化財活動記録作成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------------	---

事業期間	平成23年度～
------	---------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容	地域に根差した民俗・芸能活動は、住民の生活の一部を形作っていたものであることから、現状での活動内容について、詳細な調査を行い、活動記録の保存を行う。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

民俗・芸能活動について、活動内容の詳細な調査を行うとともに、写真・映像による活動内容の記録も行った。(26団体)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	夜間に行われる活動については、機器の精度の問題もあり、新たな記録化の方法を検討する必要がある。
--	---

状況を示す写真や資料等



本沼の舞い込んだ(白河地域)



社田の熊野講(表郷地域)



中新城の盆踊り(大信地域)



琴平神社の奉納相撲(東地域)

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

しらかわ無形民俗芸能等支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------------	---

事業期間 平成21年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 無形民俗文化財の保存団体等を対象に、民俗芸能等に用いる用具類の新規購入や修繕、行事の実施公開に対して財政支援を行うとともに、本事業を周知し、支援団体の拡充を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

無形民俗芸能等活動は、後継者不足が加速し活動停止となる事例が増加しているため、申請に基づき調査を行い、道具等の補修・購入や活動の財政的支援を行った。(15団体)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



細倉のあわしまさま(白河地域)
細倉婦人部:掛軸の補修(右写真)



竹ノ内の盆踊り(表郷地域)
竹ノ内まつり振興会:行事実施支援



十日市ちょうちん祭り(大信地域)
十日市町内会:行事実施支援



板倉の天道念仏(東地域)
板倉青年会:行事実施支援

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
	項目	現在の状況

伝統的技術伝承事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------	---

事業期間	平成24年度～
------	---------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容
 歴史的な建造物の修理等に際し、伝統工法に係る材料調達や職人不足の課題が浮き彫りとなったことから、地域の材料、地域の職人、地域固有の工法で修理する持続可能な修理システムを構築するため、モデル修理工事の実施や専門家を招いた研究会の開催等により、修理工法の開発や職人等の人材育成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上支援法人であるNPO法人しらかわ建築サポートセンターが主体となり、「旧脇本陣柳屋旅館建造物群整備事業」において修復工事を行なっている土蔵を題材とした研修会を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



座学研修(平成28年10月22日)



現地研修(平成28年10月22日)

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
	項目	現在の状況

白河歴史教科書作成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------------	---

事業期間 平成24年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業と一体の効果促進事業)(平成24年度、平成26年度) 市単独事業(平成25年度～)

計画に記載している内容 白河の歴史と伝統に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図るため、歴史の手引きの製作を行う。さらには、「(仮称)しらかわ検定」の開催を目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

白河歴史の手引き「れきしら」入門編及び上級編を有料販売することにより周知を図った。市内の小学校1年生から中学校3年生を対象に行われている「白河の歴史・文化再発見事業」においても「れきしら」を活用し、白河の歴史と伝統に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図った。また、「れきしら」を活用し、「しらかわ検定」を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

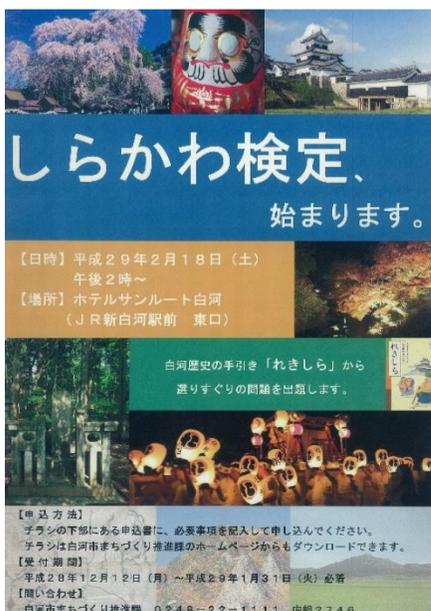
状況を示す写真や資料等



【販売実績】

年度	入門編	上級編
H25	492	-
H26	200	-
H27	355	577
H28	275	208
累計	1,322	785

左:入門編(平成24年度作成) / 右:上級編(平成27年度作成)



試験日時:平成29年2月18日(土) 午後2時～午後2時50分
 受験資格:なし(住所・年齢等不問)
 受験人数:200人
 出題形式:四者択一方式
 出題範囲:白河歴史の手引き「れきしら」入門編から50問



しらかわ検定の様子(平成29年2月18日 ホテルサンルート白河)

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
ぐるり白河文化遺産めぐり事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域の歴史的・文化的資源の価値を再認識する機会を創出するため、城下町ゾーンの寺社を中心に、あわせて歴史的・文化的資源をチェックポイントとするスタンプラリーを開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

街なかにある寺社などの歴史的・文化的遺産をめぐるスタンプラリーを年2回開催し、市内の小中学生への参加を促した。また、スタンプラリー期間中、ぐるり白河文化遺産ツアーを開催し、歴史的風致形成建造物を積極的に見学コースに取り入れ、所有者の了解のもと、その公開に努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

【春のぐるり白河文化遺産ツアー】

- テーマ: 城下町白河しだれ三桜と街なかの歴史的建造物
- 開催日: 平成28年4月9日(土)
- 参加者: 35名



関川寺の桜を楽しむ参加者

【スタンプラリー】

- 春: 平成28年4月9日(土)～24日(日)
景品交換者 74名
- 秋: 平成28年10月15日(土)～30日(日)
景品交換者 107名

【秋のぐるり白河文化遺産ツアー】

- テーマ: 明治大正浪漫紀行
- 開催日: 平成28年10月16日(日)
- 参加者: 37名



JR白河駅のホームから小峰城跡を望む見学者

ぐるり白河文化遺産ツアー参加者意見(アンケート)

- ・ふだん気づかないことがわかった
- ・入れない場所に入ることができ、普段見られないところが見られてよかった
- ・前に行ったところでも別の話が聞けてよかった
- ・個人では見過ごしてしまう場所を説明付で見学できよかった

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

白河の歴史・文化再発見事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------	---

事業期間	平成25年度～
------	---------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容
 白河の歴史や文化について知識や見聞を広め、興味を喚起するとともに、自分の生まれ育った白河を愛する心を育てるため、市内の小学2年生から中学2年生を対象に、「白河歴史教科書」を活用しながら、白河の歴史や伝統文化について体験的な学習を系統的に行う。平成27年度からは、小学1年生から中学3年生まで対象を拡大して実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

白河の歴史や伝統文化等について各学年ごとにテーマを設け、白河茶道連盟、白河語りの会、白河市文化財課学芸員等の協力を得ながら学習を行った。また、各校の小学6年生の代表児童を集め学習発表会をしたり、各中学校の代表生徒と他県の代表生徒との交流会を設けたりして、学んだことを発信する活動に力を入れた。なお、各学年とも「白河歴史の手引き『れきしら』」の活用を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等



東北中1年生 三重県で安珍歌念仏踊りの発表



中学3年生 「三市交流事業」
 学習成果を活かし、埼玉県で白河を紹介



小野田小3年生 古民家「鈴木家住居」見学



学習成果の交流会「小学6年生学びの集い」

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
文化財の修理(整備を含む)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財の状況を常に把握した上で、法令に基づき適切な保存を図るとともに、計画的な修理・整備を行う。また、専門的な指導・助言を得ながら、文化財が持つ歴史的価値の保持に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国指定史跡「小峰城跡」の石垣積替え工事を実施した。(5頁参照)
 県指定重要文化財(絵画)「白河ハリストス正教会のイコン」について、修復を支援した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

修復前



イコン《天使長ガウリイル》



イコン《生神女マリア》



修復前 取り外し作業



破損状況
(絵具剥落)



破損状況
(絵具剥落)



修復作業



修復後



修復後 公開時の様子(平成28年11月2日)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 文化財の保存・活用を行うための施設として、歴史民俗資料館、集古苑を設置しており、収蔵史資料の調査分析、保存及び公開を行っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史民俗資料館では、白河の歴史と文化を通史的に学べる展示を行っている。集古苑では、公益財団法人松浦史料博物館の協力を得て、特別企画展「松平家と松浦家－薬姫の婚礼調度と松浦家の名宝－」を開催した。他に、企画展・テーマ展を開催し、年間で計7回の展覧会を開催した。また、企画展にあわせ、展示解説会や講演会などを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

■歴史民俗資料館		
展示内容		会期
平常展示 白河の歴史と文化		通年
■白河集古苑		
展示内容		会期
結城家古文書館	阿部家名品館	
重要文化財 白河結城家文書と 中世の美術	企画展 桜・さくら	3/25(金)～5/8(日)
	伝来の遺宝と絵画・陶磁器	5/20(金)～6/26(日)
	伝来の遺宝と武家の装い	7/8(金)～8/28(日)
特別企画展「松平家と松浦家－薬姫の婚礼調度と松浦家の名宝－」		9/10(土)～11/6(日)
企画展 縁起ものの美術		11/18(金)～H29.1/22(日)
重要文化財 白河結城家文書と 中世の美術	伝来の遺宝と阿部家歴代	1/27(金)～3/20(月・祝)
	企画展 桜・さくら	3/24(金)～5/7(日)

■来館者数(平成29年3月末現在)
 ○歴史民俗資料館 2,401人
 ○白河集古苑 11,968人



歴史民俗資料館展示「白河の歴史と文化」



学芸員による展示解説会(特別企画展「松平家と松浦家」)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
----	--------	-----------------

文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------	--	---

計画に記載している内容
 文化財防火デーに併せた火災防御訓練の実施や訓練への住民参加に積極的に取り組み、所有者のみならず周辺住民の文化財防災に関する意識向上を図る。また、盗難に対する施設内の設備の現状確認を実施し、盗難予防に対する意識付けを強化していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財防火デーに併せ、市指定史跡・名勝「矢越の森」において、査察を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	所有者や地域住民と連携して、さらなる防災体制の強化に努める。

状況を示す写真や資料等



文化財査察
 (平成29年2月3日 矢越の森)

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

文化財の保存及び活用の普及・啓発	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------------	---

計画に記載している内容 文化財を広く市民へ公開し、文化財保護精神の普及・啓発を図るため、ホームページを通じて指定文化財を分かりやすく紹介するほか、文化財の誘導・説明板の設置を進める。また、出前講座や各団体の学習会等に積極的に講師派遣を行うなど、文化財に対する知識・理解の高揚に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

小峰城跡では、石垣修復現場の一般公開を月1回、7月から12月まで行った。市内の小・中学校で実施している「白河の歴史 再発見！事業」において、小峰城跡災害復旧現場の見学および白河集古苑の展示解説を行うとともに、出前講座に文化財課職員を講師として派遣し、文化財の普及・啓発に努めた。また、昨年度に引き続き、「歴史民俗資料館 美術・古文書講座」を開催し、文化財・歴史資料一般や、白河の歴史・文化について学ぶ機会を設けた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	石垣修復現場の公開については、今後も修復の進捗に応じて機会を設けていく必要がある。
--	---

状況を示す写真や資料等



小峰城石垣修復現場一般公開
(平成28年8月11日)

- 小峰城石垣修復現場一般公開
 - ・石垣修復現場である竹之丸南面と本丸北面の一般公開を6回行った。また、第2回時には、『石垣修復イベント-石垣に願いを-』を開催した。
 - 第1回(7月3日)見学者数450名 第2回(8月11日)見学者数531名
 - 第3回(9月4日)見学者数286名 第4回(10月2日)見学者数560名
 - 第5回(11月6日)見学者数233名 第6回(12月4日)見学者数302名
 - 合計2,362人

- 白河の歴史・文化再発見事業
 - ・小峰城跡・集古苑見学者数
市内15小学校の6年生を対象に修復工事現場の見学を行った。
参加児童数 600名
 - ・出前講座
市内の中学校の授業へ職員を派遣し、授業を行った。
開催内容 白河の歴史・白河の古代・小峰城の歴史・南湖公園の歴史・松平定信の業績
 - 開催回数 のべ16回
参加生徒数 1,294名

- 歴史民俗資料館「美術・古文書講座」
 - ・平成29年1月～3月の期間中に美術・古文書の2講座、計10回開講
 - ・受講者数 32人(2講座合計)



白河の歴史・文化再発見事業
「小峰城跡本丸南面石垣復旧完了状況見学」
(平成28年9月9日 白河第三小学校 6年生)



歴史民俗資料館「美術・古文書講座」
(平成29年1月13日 古文書講座)

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
小峰城、石垣復旧進む	平成28年7月3日	福島民報
豊作祈り 伝統の舞	平成28年7月5日	福島民友
白河集古苑や小峰城など見学 関辺小6年生	平成28年7月18日	福島民報
松平(白河)松浦(長崎)両家の絆 今に	平成28年9月13日	福島民報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画の核となっている史跡「小峰城跡」について、石垣修復の進捗が掲載された後に、小学生の小峰城等の見学学習が掲載される等、小峰城跡の復興に対する関心の高まりが感じられる。また、無形民俗文化財に関する事項や文化財の展示に関する事項が掲載され、白河の文化財の保存について市民に周知できた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



白河 小峰城、石垣復旧進む
1万個の石、緻密に積み上げ

二〇一一年の東日本大震災で損壊した白河市の小峰城で石垣の修復が進んでいる。約一万个の石を一つ一つ積み上げる緻密な作業。城は地域のシンボル。心のよりどころとして守っていきたい。一八年度末の完全復旧を目指す。約五十億円をかけた一大事業のノウハウは、今年四月の地震で大破した熊本城の修復にも生かされている。

「なるべく石を元の場所に戻して、被災前の姿を再現していきま

六月下旬、修復された小峰城の石垣を、白河市都市政策室の鈴木功室長が指した。別場所では、クレーン車が重さ一トンほどの石材を吊り上げて運んでいた。

震災で石垣の十カ所が崩落。大カ所で石がせり出すなど変形する被害が起きた。白河市は崩れた十個の石一つ一つに番号を振り、落ちた場所も記録しながら一年かけて一時撤去。形や色など特徴を記した石材カルテを作成した。

被災前の写真とカルテを照らし、どの石がどこに使われていたかを特定する「パスル」のような作業(鈴木室長)を経て、緻密な施工を繰り返した。欠けた石は再加工し別の場所に転用。それでも足りない分は、市内で取れる同じ素材の石を使った。積み直す石は新旧併せて約一万个に上る。

セメントは使わずの面に小石と石材のみを置き、石垣が築かれた江戸時代の工法も採用した。「多くの人

小峰城 白河市にある平野部の丘陵を利用して造られた平山城(ひらやまじょう)。14世紀中ごろの室町時代に築かれた城が始まりとされる。江戸幕府が開かれた後に4年かけて大改修され、1632年に完成。現在の石垣や城郭の基礎となった。1888年に起きた戊辰(ぼしん)戦争では白河市も戦火に見舞われ、城内の建物が一部焼失した。

小峰城の経験は、新たな被災地でも受け継がれようとしている。四月の熊本地震後、熊本城は国指定重要文化財十三件を含む建造物三十二件全が損壊し、石垣は五十カ所程

鈴木市長は「小峰城が被災した時、自分の体に傷が付いた気持ちになった。城の復旧は心の復興につながる。熊本城にもできるだけの支援をしたい」と語った。

上:小峰城、石垣復旧進む
(平成28年7月3日 福島民報
/共同通信配信)

下:関辺小6年生、小峰城等の見学学習
(平成28年7月18日 福島民報)



白河集古苑や小峰城など見学 関辺小6年生

白河市の関辺小の六年生児童三十三人は十四日、市歴史民俗資料館・白河集古苑、小峰城などを見学した。

市が実施している「白河の歴史・文化再発見!事業」の一環で、小学一年生から中学三年生までの九年間を通じて学んでいる。集古苑では結城家、阿部家の古文書や名品などの展示物の解説を受け、小峰城では石垣の復旧作業などを見学。大信地区の中山義秀記念文学館も訪れ、郷土の偉人の芥川賞作家について学んだ。

評価軸⑤-2
効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	平成28年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
児童が茶道体験 表郷小、作法学ぶ	平成28年9月18日	福島民友	
小峰城跡復旧 あす一般公開	平成28年10月1日	福島民友	
伝統的建造物 魅力に触れる	平成28年10月23日	福島民報	
歴史的建築を見学 保存や活用法学ぶ	平成28年10月24日	福島民友	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

震災からの復興のシンボルである小峰城石垣の修復工事の進捗が、定期的に新聞に取り上げられることで、市民の関心の継続に寄与している。市内の小中学生が実施する白河の歴史や伝統文化等について学ぶ事業が取り上げられたことで、授業に対する児童・生徒の関心が高まった。歴史的風致形成建造物の修復にあたり、伝統的技術の継承に努めていることが取り上げられ、歴史的建造物の保全・活用に対する関心が高まった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

児童が茶道体験
表郷小、作法学ぶ

白河市の表郷小5年生は13日、同校で茶道体験を行い、日本の伝統文化に親しんだ。写真。

総合学習の一環として行われ、63人が体験。白河茶道連盟の白井宗節社中の指導で、正座の仕方や茶、菓子、抹茶の味など、茶道の基本を学んだ。抹茶を初めて飲む児童もいて、興味深そうに味わっていた。児童は普段の生活にも役立つ作法なども学び、有意義なひとときを過ごした。

上: 表郷小5年生、茶道体験
(平成28年9月18日 福島民友)

伝統的建造物 魅力に触れる

白河市の歴史的建造物を保全し、修復方法を幅広く伝える伝統的技術伝承事業研究会は21日、市内本町にある旧脇本陣柳屋旅館建物群などで開かれた。市内外の建設関係者約30人が参加し、現地を見学しながら修復状況などに理解を深めた。

市内の設計事務所などでつくるNPO法人しらかわ建築サポートセンターの主催。市が歴史的風致形成建造物に指定している旧脇本陣柳屋旅館建物群は江戸時代に建てられ、戊辰戦争時に新選組の高橋一ら隊士約100人の宿舎所になったとされている。明治十四(一八八)年には北海道と東北を巡幸した明治天皇が別館の蔵座敷に宿泊された。市は平成二十七年八月に老朽化が進んでいた蔵座敷の改修に着工した。当時の工法に基づいて柱や土を混ぜて壁の塗り替え作業などが行われている。

同センターの深谷義明理事が案内し、工事の進捗(しんちよく)などを解説した。市立図書館では市文化財課の小野英二副主任が学芸員が講演し、旧脇本陣柳屋旅館建物群の成り立ちや歴史的意義などを紹介した。

修復工事が進む蔵座敷を見学する参加者

旧脇本陣柳屋旅館などで研修 修復状況や成り立ち学ぶ

下: 歴史的建築を見学
(平成28年10月23日 福島民報)

評価軸⑤-3
効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	平成28年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
しらかわ検定2月実施	平成28年12月17日	福島民報	
白河の歴史・文化紹介 児童が1年間の成果発表	平成28年12月28日	福島民友	
ふくしまスーパーJチャンネル(しらかわ検定実施)	平成29年1月31日	福島放送	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内の小中学生が実施する白河の歴史や伝統文化等について学ぶ事業が取り上げられたことで、授業に対する児童・生徒の関心が高まった。
平成28年度に始めて実施するしらかわ検定が新聞・テレビに取り上げられることで、市民の関心がいっそう高まった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

左:しらかわ検定2月実施(平成28年12月17日 福島民報)
 右:6年生学びの集い(平成28年12月28日 福島民友)

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 平成28年度

項目

「東北まちづくりサミット2016 in 白河」の開催

計画に記載している内容 なし

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

歴まち計画の認定を受けた東北各県から7市町の首長が一堂に会し、基調講演や様々な事例紹介、パネルディスカッションを通して、それぞれの歴まち計画の現状と今後の課題について話し合い、各市町長が熱い議論を交わし、歴史まちづくりへの意気込みが窺えるなど、大変有意義なものとなった。
会場には約300人が来場し、市民や行政関係者などの関心の高さが感じられた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

【開催概要】

日時: 平成28年11月10日(木) 13:00~16:40

場所: コミネス(白河文化交流館)小ホール

参加人数: 約300人

主催: 国土交通省東北地方整備局、白河市

参加都市: 弘前市、多賀城市、鶴岡市、国見町、磐梯町、桑折町(歴まち計画認定都市)

【アンケート結果】

○ サミットの内容

よかった	89.5%
ふつう	5.8%
よくなかった	4.7%

○ 自由記載

- ・ 白河市以外の歴まちづくりを聞くことが出来た
- ・ 基調講演の教授の経験豊富な体験談を多めに活用してほしい
- ・ 各地域における歴史的まちづくりの主な取り組みについて知ることができた
- ・ 歴まちづくりにとりくんでいる地域の現状や課題をこと細かに知ることができた
- ・ 風致の認定事例や具体的な事業についてもう少し詳しく聞きたかった



上: 基調講演
下: パネルディスカッション

総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	平成26 年度～ 28 年度
計画に記載している方針	<p>歴史的な町並み景観の保全と 歴史的建造物の保存・活用に関する方針</p> <p>城下町である白河の市の重要な歴史的風致を形成する町並み景観の保全とともに、周囲の歴史的街並みと調和の取れた修景を推奨する。また、歴史的建造物の保存・活用に努める。あわせて、景観阻害要因となる電線類の無電柱化と屋外広告物規制について検討を行う。</p>
計画に記載している課題	<p>市街地に集積する歴史的建造物は、近代化の中で歴史的街並みの特徴を失いつつあるとともに、後継者不足や建造物そのものの老朽化により、取り壊しが等が急速に進んでいる。</p> <p>残された歴史的建造物は、白河市の歴史的風致に欠かすことのできないものではあるが、調査が十分に行われておらず、分布状況やその価値が明らかとなっていないものも多く、老朽化等により、家業の継続に支障をきたす例や良好な街並み景観を損なうこともある。</p> <p>さらには、電線類が良好な景観を阻害するばかりでなく、白河提灯まつりの運行に支障をきたしている。</p>
対応する進捗評価項目とその推移	<p>②都市計画の活用 南湖湖畔店舗地区歴史的風致維持向上地区計画を導入し、歴史的風致にふさわしい用途の建築物等の整備を可能にした。</p> <p>②景観計画の活用 景観条例及び景観計画に基づき、良好な景観形成に努めた。また、景観まちづくり協定の締結に向け協議会を設立した(H27年度)。</p> <p>②屋外広告物について 屋外広告物法及び白河市屋外広告物等に関する条例に基づき、美観・風致の維持及び良好な景観形成に努めた。また、屋外広告物ガイドラインを策定した(H28年度)。</p> <p>③歴史的まちなみ修景事業 景観計画に基づく景観形成ガイドラインにより建造物の修景等に対する支援を実施した。</p> <p>③歴史的風致形成建造物保存修景事業 NPO法人しらかわ建築サポートセンター(歴史的風致維持向上支援法人)と連携し、歴史的風致形成建造物の修理等に対する支援を実施した。</p> <p>③無電柱化調査事業 無電柱化事業の勉強会(H26年度)と先進地視察(H27年度)を行い、関係各位と現地立会いして事業実施にあたっての課題を確認した(H28年度)。</p> <p>③無電柱化事業(主要地方道白河停車場線) 片側(西側歩道部)について共同溝整備工事(H26年度)及び東側歩道部について共同溝整備工事(H27年度)を実施した。</p> <p>③旧脇本陣柳屋旅館建造物群整備事業 用地取得及び建物を取得し(H26年度)、史実に基づく復元整備を行った(H27～28年度)。また、利活用案について本町町内会等と協議を行った。</p> <p>③屋外広告物景観影響調査事業 屋外広告物のあり方検討懇談会を開催した(H26～27年度)。また、景観審議会で白河市屋外広告物ガイドラインについて検討した(H28年度)。</p> <p>③小南湖公園整備事業 大名家墓所にふさわしい外観を整えつつ街なか回遊の拠点とするため、湖沼整備(H26年度)、森林整備(H27年度)、駐車場整備(H28年度)等を行った。</p>

<p>方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)</p>	<p>白河の歴史的まちなみ景観を形成する重要な要素である歴史的建造物については、NPO法人建築サポートセンターと連携し図面作製等の調査を行った。また、学識経験者の協力を得て、建物の由緒の聞き取り調査等を実施し、順次、歴史的風致形成建造物への指定を進めた。あわせて、補助金の交付や相談に応じる等の助成制度により建造物の修理等に対して積極的な支援に努めた。今回の総括評価期間に指定建造物の約14%が補助金の交付を受けて修理等を行った。さらに要望量調査では32%が修理等を検討している。取り壊しが進められることが懸念された歴史的建造物の保全が図られ、歴史的まちなみ景観の喪失に歯止めをかけることができた。</p> <p>景観条例、景観計画、景観形成ガイドライン、屋外広告物等に関する条例、屋外広告物ガイドライン等により適正な規制と誘導を行い、歴史的町並みと現在の町並みの調和が図られた良好な景観形成に努めた。また、景観協定の導入により住民の理解を得るとともに、一般住宅等の修景整備に対して財政的支援を行い、歴史的建造物と一体となった連続性のある町並みの形成に寄与している。</p> <p>【実績】</p> <p>②景観計画の活用 条例に基づく届出：H26年度43件、H27年度39件、H28年度41件</p> <p>③歴史的まちなみ修景事業 補助金交付：H26年度8件、H27年度2件、H28年度5件</p> <p>③歴史的風致形成建造物保存修景事業 補助金交付：H26年度5棟、H27年度7棟、H28年度2棟 歴史的風致形成建造物指定：H27年度2棟、H28年度1棟</p> <p>③屋外広告物景観影響調査事業 屋外広告物のあり方検討懇談会：H26年度5回、H27年度2回</p>
<p>達成状況の評価、要改善事項</p>	<p><input type="checkbox"/> 想定通り効果が発現している <input type="checkbox"/> 今後発現が予想される <input checked="" type="checkbox"/> 要対策検討 <input type="checkbox"/> 現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項) 白河提灯まつり運行支障や景観阻害要因となっている電線・電柱類について、無電柱化に向けた一定の進捗は見られるが、さらに推進するため、地元町内会や地権者等への説明と事業化のための調査検討に努める必要がある。</p>
<p>計画見直しの必要性</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 計画の見直しが不要 <input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)</p>

総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	平成26 年度～ 28 年度
計画に記載している方針	<p>文化財の保存・活用に関する方針</p> <p>歴史的建造物については、学術調査による価値付けを行い、歴史的風致形成建造物への指定などにより保存・活用を図る。また、町なかの回遊性を高め、地域資源の価値を知る機会の創出するとともに、これらの資源を観光拠点とした整備を推進する。指定文化財については、適切な保存・活用に努める。</p>
計画に記載している課題	<p>歴史的建造物の多くは、学術的な調査等が行われておらず、その所在や価値が認識されていない状況にある。</p> <p>また、歴史的建造物等の所在する町並みや多くの文化財を繋ぐルートは十分な歩道幅員が確保されていない箇所が多く、文化財等の活用につながらない状況にある。指定文化財を保全する上で考慮すべき課題がそれぞれにある。</p>
対応する進捗評価項目とその推移	<p>③小峰城跡本丸・二の丸石垣修復事業(小峰城跡災害復旧事業) 崩落原因や修復方法の検証結果に基づき、計画的に崩落・変形箇所 の修復工事を行っている。</p> <p>③旧脇本陣柳屋旅館建造物群整備事業 用地取得及び建物を取得し(H26年度)、史実に基づく復元整備を 行った(H27～28年度)。また、利活用案について地元町内会等と協議 を行った。</p> <p>③しらかわ歴史回廊事業 歩行者系誘導サイン、道標等の案内施設整備を行う(H26年度・繰 越)とともに、まちなかに残る歴史的・文化的資源等を結んだ回遊ル ートマップ等を作成した。</p> <p>③小南湖公園整備事業 大名家墓所にふさわしい外観を整えつつ街なか回遊の拠点とするた め、湖沼整備(H26年度・繰越)、樹木伐採(H27年度・繰越)、駐車場整 備(H28年度)等を行った。</p> <p>③都市計画道路一番町大工町線整備事業 歴史的な町並みを活かした歩車共存道路として、石畳舗装の整備を 行った。</p> <p>③都市計画道路乙姫桜プロムナード整備事業 歴史的な町並みを活かした歩車共存道路として、3号線を整備した (H27年度)。2号線については道路改良舗装工事に着手した(H28年 度)。</p> <p>③ぐるり白河文化遺産めぐり事業 歴史的・文化的資源を巡るスタンプラリー及びツアーを開催した。</p> <p>④文化財の修理(整備を含む) 文化財の状況を常に把握し、法令に基づき適切な保存を図り、文化 財の修復を行った。</p> <p>④文化財の保存・活用を行うための施設 歴史民俗資料館及び集古苑において、常設展示のほか企画展を開 催した。</p> <p>④文化財の防災 文化財防火デーに、指定文化財を対象として防火訓練を実施した。</p> <p>④文化財の保存及び活用の普及・啓発 小峰城石垣の修復箇所を工事の進捗にあわせ一般公開したほか、 出前講座や白河の歴史再発見！事業に職員を派遣し、文化財の普及 啓発に努めた。</p>

<p>方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)</p>	<p>経年による老朽化が激しく、震災により損傷を受けたことから、由緒ある建造物が消滅する危機に瀕していたが、歴史的風致形成建造物への指定を進めつつ、修理等に補助金を交付することで、懸念された取り壊しを回避することができ、町並みの保全が図られている。歴史的風致形成建造物のうち、旧脇本陣柳屋旅館建造物群については、他の指定物件とは別格の歴史的価値を鑑み、市が土地建物を取得し、補修事業を行っている。</p> <p>地域に残る歴史的資源を町なか回遊の拠点として、旧脇本陣柳屋旅館建造物群とともに小南湖公園の整備も順調に進捗している。</p> <p>また、小峰城跡石垣修復箇所的一般公開のほか、ぐるり白河文化遺産めぐりツアーなど、文化財や歴史的建造物等を巡るイベントを定期的に開催しており、その反響の大きさから地域の歴史・文化に対する関心の高さがうかがえる。イベントごとに実施しているアンケート調査でも、身近な歴史的資源の再発見や価値の再認識へつながっているとの声が寄せられるなど、住民の意識の高揚に寄与していることが分かる。</p> <p>【実績】</p> <p>③ぐるり白河文化遺産めぐり事業 ツアー参加者：H26年度84人、H27年度73人、H28年度72人</p> <p>④文化財の修理(整備を含む) 修復内容：H26年度「天神神社」、H27年度「鈴木家住居」、H28年度「白河ハリストス正教会のイコン」</p> <p>④文化財の保存・活用を行うための施設 歴史民俗資料館企画展：H26年度2回 集古苑企画展：H27年度7回、H27年度7回、H28年度7回</p> <p>④文化財の保存及び活用の普及・啓発 小峰城石垣一般公開：H26年度10回6,325人、H27年度「小峰城復興式」約1,000人、H28年度6回2,362人 出前講座：H27年度12回1,205人、H28年度16回1,294人 白河の歴史再発見！事業：H27年度15校645人、H28年度15校600人</p>
<p>達成状況の評価、要改善事項</p>	<p><input type="checkbox"/> 想定通り効果が発現している <input type="checkbox"/> 今後発現が予想される <input checked="" type="checkbox"/> 要対策検討 <input type="checkbox"/> 現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項) 現在指定している歴史的風致形成建造物の約9割は前回の総括評価期間に指定されたもので、今後、歴史的建造物の掘り起こしのため、分布状況やその価値を明らかにする調査を行う必要がある。</p>
<p>計画見直しの必要性</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 計画の見直しが不要 <input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)</p>

総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	平成26 年度～ 28 年度
計画に記載している方針	<p>祭礼行事等の伝統文化や伝統技術の継承に関する方針 祭礼等の担い手となる小・中学生を対象が担い手として育成されるよう努めるとともに、記録保存に向けた取組みを推進する。また、無形民俗文化財などの保存団体を対象に、財政的支援に努め、伝統文化の継承に向けた環境整備を推進する。各種事業の実施により、伝統産業に係る技術の継承に努める。</p>
計画に記載している課題	<p>少子・高齢化などに伴う人口減少により、祭礼組織を包括する地域組織の担い手・後継者不足が顕著となっている。 醸造業、だるま製造、和菓子製造などをはじめとする伝統産業に携わる職人の高齢化や後継者不足等により、技術の伝承が途絶えてしまうことが危惧されている。</p>
対応する進捗評価項目とその推移	<p>③無形民俗文化財活動記録作成事業 地域に根差した民俗・芸能活動について、詳細な調査を行い、活動記録の保存を行った。</p> <p>③しらかわ無形民俗芸能等支援事業 無形民俗芸能等活動に用いる道具等の補修・購入や活動の財政的支援を行った。</p> <p>③伝統的技術伝承事業 歴史的な建造物の修理等に際し、職人不足等の課題に対処するため、NPO法人しらかわ建築サポートセンターと連携し、モデル修理工事の実施や専門家を招いた研究会の開催した。</p> <p>③白河歴史教科書作成事業 白河の歴史や文化に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図るため、白河歴史の手引き「れきしら」上級編を作成し(H26年度)、しらかわ検定を実施した(H28年度)。</p> <p>③白河の歴史 再発見！事業 白河の歴史や伝統文化等について知識や見聞を広めるとともに郷土愛の醸成を目的として、学年ごとにテーマを設け、関係機関等の協力を得ながら学習を行った。</p>

<p>方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)</p>	<p>無形民俗文化財を記録し、活動支援を継続することで、地域に根ざした民俗・芸能活動を途絶えることなく後世に伝える役割を果たしている。</p> <p>前回総括評価期間中に作成した白河歴史の手引き「れきしら」入門編の内容を補足し、年代順に記載した上級編を作成した。小学校高学年から理解できるような表現を用い、系統立てた記述でわかりやすい表記に努めたことから、白河の歴史や伝統活動を学び、触れる手引きとして、市内小中学校で活用されているほか、有料販売も順調で、市民から大変好評を博しており、ふるさとの歴史・文化に対する正しい理解と郷土愛の醸成に大きく寄与している。「れきしら」を活用した「しらかわ検定」を実施したところ申し込み多数で、市民の関心の高さが実感された。</p> <p>次世代を担う小中学生が、地域の歴史に対する正しい知識をもって郷土愛を育むことができるよう、白河の歴史や伝統文化等について体系的に学習を行う「白河の歴史 再発見！事業」は、行政のみならず、民間の協力も得て、幅広いテーマで取り組んでいる。</p> <p>【実績】</p> <p>③無形民俗文化財活動記録作成事業 活動記録：H26年度19団体、H27年度38団体、H28年度26団体</p> <p>③しらかわ無形民俗芸能等支援事業 活動支援：H26年度13団体、H27年度12団体、H28年度15団体</p> <p>③白河歴史教科書作成事業 入門編販売：H26年度200冊、H27年度355冊、H28年度275冊 上級編販売：H27年度577冊、H28年度208冊 しらかわ検定受験者：H28年度200人</p>
<p>達成状況の評価、要改善事項</p>	<p><input type="checkbox"/> 想定通り効果が発現している <input checked="" type="checkbox"/> 今後発現が予想される <input type="checkbox"/> 要対策検討 <input type="checkbox"/> 現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項) 伝統文化や伝統技術の継承に係る事業を各種実施しているが、高い技術を持つ職人ならでの考え方など文字では残せないような部分についての伝承は難しい。新たな担い手・後継者の育成に努めるとともに、アーカイブ化できるものについては記録を残すなどして、これらの取り組みを更に推進する。</p>
<p>計画見直しの必要性</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 計画の見直しが不要 <input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)</p>

評価対象年度	平成26 年度～ 28 年度					
・歴史的風致維持向上施設の整備・管理						
代表的な取り組み①: 歴史的風致形成建造物保存修景事業						
<p>(取り組み概要)</p> <p>歴史的建造物の保全と活用を図り、歴史的まちなみ景観の形成に寄与することを目的に、旧奥州街道や歴史的街路の沿道に所在する歴史的な建造物を「歴史的風致形成建造物」に指定し、所有者等が行う建造物の修理等に要する費用の一部助成を実施している。</p> <p>【実績】</p> <table style="width:100%; border: none;"> <tr> <td style="width:30%; vertical-align: top;"> <p>○補助件数</p> <p>平成26年度 5件5棟 平成27年度 6件7棟 平成28年度 2件2棟</p> </td> <td style="width:70%; vertical-align: top;"> <p>○補助内容</p> <p>対象事業 歴史的風致形成建造物の修理、修景又は整備のための事業 補助率 対象経費の1/2 補助上限 300万円</p> </td> </tr> </table> <table style="width:100%; border: none;"> <tr> <td style="width:30%; vertical-align: top;"> <p>○新規指定件数</p> <p>平成26年度 0件 平成27年度 2件2棟 平成28年度 1件2棟</p> </td> <td style="width:40%; text-align: center;">  </td> <td style="width:30%; vertical-align: top;"> <p>平成28年度補助対象 建造物</p> <p>左: 施工前 右: 施行後</p> </td> </tr> </table>		<p>○補助件数</p> <p>平成26年度 5件5棟 平成27年度 6件7棟 平成28年度 2件2棟</p>	<p>○補助内容</p> <p>対象事業 歴史的風致形成建造物の修理、修景又は整備のための事業 補助率 対象経費の1/2 補助上限 300万円</p>	<p>○新規指定件数</p> <p>平成26年度 0件 平成27年度 2件2棟 平成28年度 1件2棟</p>		<p>平成28年度補助対象 建造物</p> <p>左: 施工前 右: 施行後</p>
<p>○補助件数</p> <p>平成26年度 5件5棟 平成27年度 6件7棟 平成28年度 2件2棟</p>	<p>○補助内容</p> <p>対象事業 歴史的風致形成建造物の修理、修景又は整備のための事業 補助率 対象経費の1/2 補助上限 300万円</p>					
<p>○新規指定件数</p> <p>平成26年度 0件 平成27年度 2件2棟 平成28年度 1件2棟</p>		<p>平成28年度補助対象 建造物</p> <p>左: 施工前 右: 施行後</p>				
<p>(自己評価)</p> <p>東日本大震災により、被災した歴史的建造物が撤去されるなどして、白河らしさを形成するまちなみが失われてしまうとの危機感から、歴史的風致形成建造物を指定し、保存のため所有者の協力を得てきた。その結果、指定99棟のうち約4割に当たる39棟が白河市の補助金を受け外観等の修復・修繕を行っており、ハード面での歴史的資源の整備は着々と進んでいる。</p> <p>計画の当初は、歴史的風致形成建造物を負の遺産と感じている所有者も少なくなかったが、当該建造物を見学する事業等により、所有する建造物にスポットが当たることで、価値を再認識し、保全の気運が高まるなど、地域の誇りや郷土愛の醸成にもつながり、歴史的風致の維持向上に大きく寄与する成果となっている。</p>						
<p>(外部評価)</p> <p>・外部有識者名(役職・肩書き等): 土方吉雄 (日本大学工学部建築学科准教授、白河市景観審議会会長)</p> <p>・外部評価実施日: 平成29年2月11日</p> <p>・有識者コメント</p> <p>白河提灯まつりや白河だるま市などの歴史的風致と一体となって欠かせない歴史的建造物を歴史的風致形成建造物として指定した99棟のうち約4割が市補助金によって修景修繕が図られていること、および新規指定も継続して行われてきていることが歴史的資源の整備保全に大きく寄与しており高く評価できる。また、整備した歴史的建造物の市民に対する公開事業等により、所有者と市民の歴史的資源に対する理解と関心が高まっており、適正な活用事業が図られていることも評価できる。</p> <p>今後は、本事業の補助制度を継続するとともに、歴史的風致建造物をより市民に周知しうる方法の工夫や、中心市街地活性化に向けた取り組みや住民主体の景観まちづくりとの連携等の多面的利活用を視野に入れた工夫などが歴史的風致の維持向上にとって望まれる。</p>						
<p>(今後の対応方針)</p> <p>本事業を活用して補修修繕を行った歴史的風致形成建造物は指定建造物の利活用が十分ではない。街なみの保全を図りつつ、外観の修繕にとどまらない大胆なりノーションにより建造物の利活用を所有者に提案することについて歴史的風致維持向上支援法人等との連携をはかり、歴史的資源としての街なみの保全に努める。</p>						

評価対象年度 平成26年度～ 28年度

・歴史的風致維持向上施設の整備・管理

代表的な取り組み②: 旧脇本陣柳屋旅館建造物群整備事業

(取り組み概要)

旧脇本陣柳屋旅館建造物群は、文化年間に建てられたもので、旧城下町に残る町家では最も古い建造物であり、本市の歴史的風致形成建造物のなかでも特に重要なものであるが、経年による老朽化が激しく、さらに震災で損傷を受けたことから、取り壊される危機に瀕しており、修復は急務であった。歴史的まちづくりの核となる施設として整備することを念頭に置き、その保全のため市が補修事業を行うこととし、土地建物を取得、補修工事に着手した。

【内容】

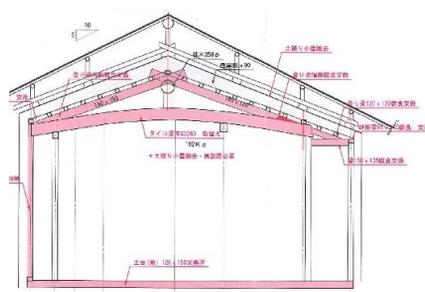
平成26年度 用地取得、建物取得(蔵座敷は寄付)

平成27年度 修復工事
(解体・基礎等)

平成28年度 修復工事
(屋根解体・部材
交換・屋根葺き等)

左: 土屋根の解体・復旧工事

右: 再利用可能な建材(梁・桁等)



(自己評価)

他の歴史的風致形成建造物とは別格の歴史的価値を鑑み、歴史的まちづくりの核となる施設として整備することを念頭に置いている。補修工事は、現状を回復・維持する方針で進めており、歴史的風致維持向上支援法人であるNPOしらかわ建築サポートセンターが行う伝統的技術伝承事業と連携し、伝統工法による修復工事を促進するとともに、職人育成に寄与している。

劣化した部分を資料に忠実に修復することで、蔵座敷本来の魅力を回復するとともに、修復工事の過程を記録し後世へ伝える役割を果たしている。

(外部評価)

・外部有識者名(役職・肩書き等): 土方吉雄

(日本大学工学部建築学科准教授、白河市景観審議会会長)

・外部評価実施日: 平成29年2月11日

・有識者コメント

明治天皇や新撰組が宿泊した等の歴史的由緒を持ち、旧城下町に残る貴重な歴史的遺産として重要な構成要素の一つであることから、回復・維持する整備方針が進められている。これらの補修工事過程で、歴史的風致維持向上支援法人NPOの伝統的技術伝承事業との連携により伝統工法による修復工事技術促進や職人育成に寄与していること、また後世に修復工事記録を残していることは高く評価できる。

今後は、当施設群に対する、まちなか回遊の拠点を目指したマネジメントが重要となり、周辺地域における住民主体の景観まちづくりの誘導や既存ストックの有効活用を含めたエリアマネジメント策定が歴史的風致の維持・向上にとって望まれる。

(今後の対応方針)

完成後の管理体制とあわせて、街なか回遊の拠点として有効な利活用案を決定する。周辺の整備状況(集会所・屋台会館・県ポケットパーク)と連動するようにする。

戊辰戦争と縁のある建造物であることに鑑み、戊辰150年記念事業との連動を図る。

評価対象年度 平成26年度～ 28年度

・歴史的風致維持向上施設の整備・管理

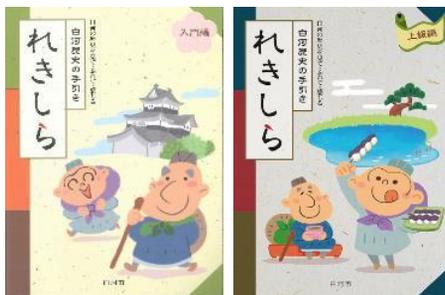
代表的な取り組み③: 白河歴史教科書作成事業

(取り組み概要)

白河の歴史や伝統活動を学び、触れる手引きとして、エリア・テーマごとに分かりやすくまとめた「れきしら」入門編の発行に続き、白河の歴史を年代順にまとめ、入門編の内容を補足する上級編を作成した。

平成28年度には、白河の歴史と伝統の理解及び郷土愛の醸成を図ることを目的に、「れきしら」から出題する「しらかわ検定」を実施した。

左: 入門編(平成24年度作成)
中: 上級編(平成27年度作成)
右: 事業告知のポスター
(平成28年度)



(自己評価)

「れきしら」は、内容の充実はもちろん、幅広い年代層の方が見て楽しめるようイラストやふりがなを多く使い、系統立てた記述でわかりやすい表記に努めたこともあり、市民から好評を博し、白河に数多く残る身近な歴史的資源の再発見や価値を再認識する機会の創出に寄与している。

また、市内各小・中学校への配布のほか、各公共機関等に配置したほか、有料販売の取扱店を増やすなどして、市民の関心を引く機会を拡大している。

市内の小中学生を対象とした「白河の歴史 再発見！事業」に活用し、子どもたちが歴史や文化等について正しく学ぶ機会を提供し、歴史や伝統文化等の継承への意識醸成に寄与している。

平成28年度に実施した「しらかわ検定」は、多くの市民の関心を引き、白河の歴史と伝統の理解及び郷土愛の醸成を図ることに貢献した。

(外部評価)

・外部有識者名(役職・肩書き等): 土方吉雄
(日本大学工学部建築学科准教授、白河市景観審議会会長)

・外部評価実施日: 平成29年2月11日

・有識者コメント

幅広い年代層を対象にわかりやすくまとめていること、および小中学校や公共機関等への配布・配置のほか販売取扱店拡充などの市民の関心を引く機会拡充が行われており、市民の身近な歴史的資源の再発見や価値の再認識に大きく寄与していることが高く評価できる。また、市内小中学生を対象とした「白河の歴史 再発見！事業」への活用のほか、教科書「れきしら」から出題する「しらかわ検定」が平成28年度に実施され、多くの市民の関心を引くことに成功している。

今後は、さらなる歴史・伝統・文化の理解と郷土愛の醸成を目途として、小中学校における総合学習の副読本として「れきしら」が活用されることを期待したい。子供たちの歴史・伝統・文化に対する理解度と郷土愛は、歴史的風致の維持・向上に大きく影響すると考えられるからである。

(今後の対応方針)

白河の歴史や伝統活動を学び、触れることができるとして、市民から大変好評を博している。引き続き、市民の歴史まちづくりに対する意識向上に努める。

しらかわ検定の継続的な受験者の確保のため、魅力の向上とあわせ、合格者が活躍できるような場の創出を検討する。

評価対象年度	平成28年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 白河市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 平成29年2月28日	
<p>(コメントの概要)</p> <p>○旧脇本陣柳屋旅館建造物群整備事業(9ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度で整備が完了するとのことであったが、平成30年の戊辰150年の節目にあたり開催される行事と連携するような利活用が望ましい。 ・当該施設の周辺は屋台会館及び町内会集会所が完成し、ポケットパークの整備が予定されている。全体として複合的な利活用が望ましい。 ・当該施設だけでなく、様々な施設整備が着実に進行している。今後は、ハードからソフトに事業をスライドさせていくことが重要になると思われる。 <p>○伝統的技術伝承事業(15ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高い技術を持つ職人の技を後世に引き継ぐのは重要である。 ・祭礼や踊りなど様式や型のあるものを記録することも重要だが、伝承が難しい職人技をどのように記録するか、文字で残されない、いわば口伝(オーラルヒストリー)をアーカイブ化して後世に伝えるのは重要なことである。 <p>○白河歴史教科書作成事業(16ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しらかわ検定を歴史への興味の入口になるよう活用できないか。 ・数値化できないような歴史まちづくりに対する意識の向上に役立てて欲しい。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近の文化財は保存から活用に重点が移りつつある。白河市には重要な歴史的コンテンツが多いので大いに活用してほしい。 ・歴史的なまち並みで現行の建築基準法を適用すると、歴史的なまち並みを維持できない。既存不適格建造物の適用除外について、白河の現況を踏まえて検討していくべきである。現実的なニーズがあるのであれば、個別に検討していくことも必要である。 	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>○旧脇本陣柳屋旅館建造物群整備事業(9ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺施設と調和した利活用案とともに、施設の管理者についても検討する。 ・戊辰150周年記念事業と関連付け、多くの関心を引くようにする。 <p>○伝統的技術伝承事業(15ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職人の技術や考え方などを記録するよう検討する。 <p>○白河歴史教科書作成事業(16ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しらかわ検定は平成29年度以降、難易度別の級を増やしていくとともに、合格者が本市の歴史まちづくりに積極的に関与できるような手法を検討していく。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備の完了した施設がまちなか回遊の拠点として観光交流人口の増加につながるような事業を検討する。 ・歴史的なまち並みの保全に必要な手法について調査検討する。 	